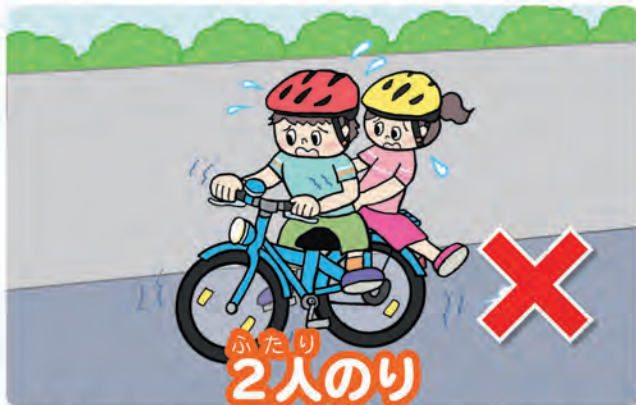


あぶない のり方は やめよう!



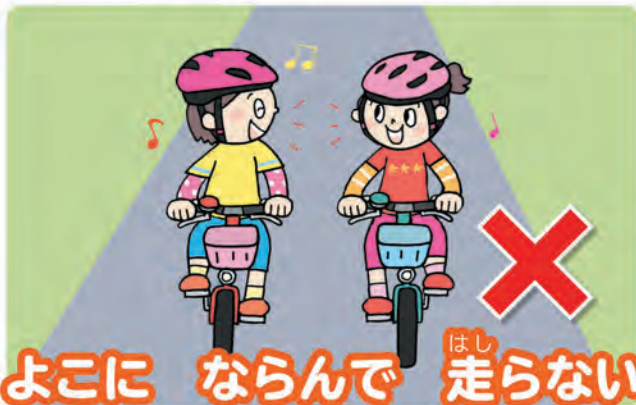
ふたり
2人のり

ふたりは **バランス**を **くずして**
たおれやすい。ぜったいに **やめよう**。



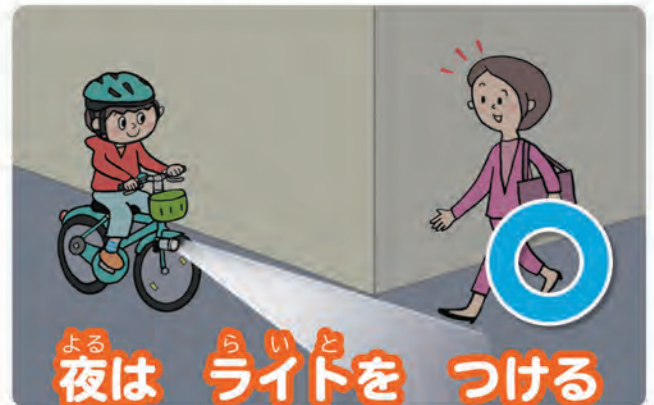
すびーど
スピードきょうそう

すびーどの **だしすぎ**は **すぐに**
とまれないので、とつても **きけん**だよ。



よこに **ならんで** **走らない**

よこに **ならんで** **走る**のは、
ほかの **ひと**や **くるま**の **じゃま**になって
あぶないよ。



よる **夜**は **ライト**を **つける**

よるになると、まわりが **見えにく**くなる。
かならず **ライト**を **つけよう**。

保護者の皆様へ

- ▶ 子どもへの交通安全教育は保護者の義務です。安全行動が習慣化するように、日常生活の中で繰り返し指導するようにしましょう。
- ▶ 子どもは友達と一緒にあって、大胆で危険な行動をとることがあります。2人乗り、競争、並進などは、事故につながりやすい大変危険な行為であることを理解させましょう。
- ▶ 夕方や夜など、周囲が暗くなってきたら必ずライトをつける習慣をつけさせましょう。ライトを点灯することは、前方がよく見えるだけでなく、ほかの歩行者や車の運転者に自分の存在を知らせる効果もあります。



じてんしゃ 自転車の ための いろいろな 道



じてんしゃ 自転車 が 走る ことができる いろいろな 道 があるよ！



じてんしゃ どう 自転車道

じてんしゃ 自転車の ための 道。 じてんしゃ 自転車は どちらの 方こう にも 通ることが できる。



じてんしゃ れーん 自転車レーン

じてんしゃ 自転車は 青く められている ところを 走るよ。 通ることが できるのは 道の 左がわの レーンだけ。



じてんしゃ ほこう どう 自転車歩行しや道

ある ひと じてんしゃ 歩く人と 自転車の ための 道。 ある ひと 歩いている人が ゆう先だよ。



じてんしゃ なびらいん 自転車ナビライン

じてんしゃ 自転車は 走る 場しよと 向きを 教えてくれる 道の ひょうじだよ。



じてんしゃ 自転車にも かんけいする ひょうしきや ひょうじ

じてんしゃ 自転車は くるま 車の なか間。 交通あんぜんの ための ひょうしき・ひょうじを しっかり まもろう！ ほごしやと かくにん してね！

じてんしゃ 自転車は 入ることが できない 道

つうこうど 通行止め
しや 車りよう 通行止め
しや 車りよう しん入きん止

じてんしゃ 自転車は 通ることが できない 道

じどう車せん用
ほこう 歩行しやせん用

じてんしゃ 自転車は 通ることが できる 道

じてんしゃ 自転車せん用
じてんしゃ 自転車および ほこう 歩行しやせん用

いちど 止まらなければ ならない 場しよ

いちじ 一時てい止
いちじ 一時てい止

じてんしゃ 自転車が おうだん できる ところ

じてんしゃ 自転車おうだんたい
おうだん歩道・ じてんしゃ 自転車おうだんたい

矢じるしの 方こうに しか すずむことが できない 道

いっぽうつうこう 一方通行
じてんしゃいっぽうつうこう 自転車一方通行

すぐに 止まれる はやさで 走る 場しよ

こう 進行
こう 進行

道 道ろ ひょうしきの しめす かん

はじめり
ちゆう 中
おわり

じてんしゃ 自転車が 入っては いけない 交さ点

つうじてんしゃ 通自転車の 交さ点しん入きん止

自転車を除く 軽車両を除く じてんしゃ はず で自転車を外れることもあります。



保護者の皆様へ

- ▶ 「一時停止」や「歩行者専用」など、自転車の守るべき道路標識や標示はたくさんあります。子どもとともに、近所にある道路標識・標示を確認して、意味を確認しておきましょう。
- ▶ 自転車も車両であることを強く意識させ、子どものころから道路標識・標示を確認する習慣をつけさせましょう。